

第4回 JET 地域国際化塾

～外国人の地域活動への参加と県内の観光資源を活用した地域活性化～

総務省自治行政局国際室

令和元年10月9日（水）～11日（金）の3日間にわたり、宮崎県において「外国人の地域活動への参加と県内の観光資源を活用した地域活性化」をテーマとして第4回 JET 地域国際化塾を開催しました。

1. 趣 旨

人的交流プログラムである JET プログラムの参加者は、地域社会との関わりを積極的に持つことを通じ、日本社会や日本人についての理解を深めるとともに、帰国後は日本と母国の架け橋となることが期待されている。

JET 地域国際化塾は、JET 青年に対して、地域づくり活動の事例視察やグループワークなどを通じて、地域の魅力についての理解を深め、地域への参加・貢献について考えてもらうことを目的として、これまで3回開催しており、令和元年度は宮崎県との共催で実施したもの。（第1回は平成27年度に石川県、第2回は平成29年度に茨城県、第3回は平成30年度に青森県で開催。）

2. 日 程

令和元年10月9日（水）から10月11日（金）まで

3. 会 場

宮崎県庁 など

4. 参加者

約70名

- ・ JET 青年（宮崎県内 JET、県外 JET）
- ・ 地方自治体・地域づくり活動関係者

第4回JET地域国際化塾(in宮崎県) 実施概要

JET地域国際化塾の目的

地域で生活するJET青年と、自治体・地域活動関係者との出会い・交流の場である「JET地域国際化塾」を開催

- ▶ ○JET青年による地域への参加・貢献を促進
- 外国人の視点を地域活性化に応用

1日目(10月9日)

○オープニングガイダンス

JET地域国際化塾の趣旨や流れを説明

○基調講演

株式会社訪う日高葵CEOによる

「Local region's potential of Travel - What we need to bring local experience/lifestyles to the World -」

をテーマとした講演により、本事業を通じて考えてほしいことや地域への貢献のあり方等について理解を深める



2日目(10月10日)

○現地視察(高千穂方面、日南方面)

地域づくりの現場を視察し、人々の思いに触れ、地域の魅力を肌で感じる

・高千穂コース視察先

- ・農家民泊
- ・神楽鑑賞
- ・天岩戸神社、天安河原 など

・日南コース視察先

- ・飫肥エリア散策
- ・小村記念館
- ・道の駅南郷 など



○グループワーク

基調講演や視察、意見交換等を踏まえ、外国人の地域活動への参加と県内の観光資源を活用した地域活性化についての考えをグループで共有し、発表資料にまとめる

3日目(10月11日)

○成果発表

グループワークでまとめた資料を班別に発表し、共有することで、各自の地域活動への参加・貢献に対するイメージを広げる



成果発表の概要

JET青年が考える地域の魅力

○自然

- ・日南の海岸に広がるパノラマビュー
- ・高千穂の山々を覆う雲海



○歴史・文化の体験

- ・飫肥城や小村記念館など歴史の歴史的施設
- ・天岩戸神社のような神秘的なスポット
- ・神楽



○地域ならではの味覚

- ・マンゴー
- ・魚うどん

JET青年が考える地域の魅力の発信方法など

○FacebookやTwitter等のSNSを中心としたインターネットでの情報発信

- ・地域に関するハッシュタグを作成する
- ・Google Mapの情報を頻繁に更新する
- ・インフルエンサーへ地域の魅力をPRする
- ・フォトスポットをより強くPRし、訪れた人のSNSによる発信を促進する

○外国人向けの看板や案内標識等の改善

- ・飲食店や観光スポットなどを示す多言語の看板等を充実させる
- ・観光地における英訳ガイドに、日本独自の言葉(尺、寸など)の説明を記載する

○多様なPR方法

- ・ハイキングなどで活用できるルートマップを多言語で作成する
- ・武士の鎧や着物の試着、婚礼用の駕籠への試乗等の文化体験を充実させる

JET青年が考える地域の魅力づくりへの参加のあり方

○自分の住んでいる地域で今後取り組みたいこと

- ・地域の観光地等を改めて訪問する
- ・自分のブログやSNSで地域の魅力等を英語で発信する
- ・もっと多くのJET参加者間で地域の魅力を共有する
- ・ツアーガイドのボランティアをやってみる
- ・(今回のJET地域国際化塾のような)地域の人々と意見交換できる場に参加する
- ・友達や家族をそれぞれの地域に招待して案内する